

オープンイノベーション企業度テスト

1 経営層

- 「ベンチャー投資・M&A」「組織・仕組み」と「人材・働き方・成果指標」改革の意義を理解し、実行できる体制を構築している
- 「既存事業の継続・成長」と「新規事業の探索・投資・開発」の違いを明確に認識して経営判断を行っている
- 新規事業開発やベンチャー投資経験者を経営層に登用している

2 組織・仕組み

- スタートアップとの連携を行う専門組織「出島」を設置している
- 「出島」には十分な予算・権限を配し、意思決定プロセスの独立性を担保している
- 「出島」から既存事業部門への受け渡しを円滑化する仕組みを設けている
- スタートアップと連携する目的（ゴール）を明確化している
- 事業部門やコーポレート部門（法務、知財、経理など）が主体的に関わる仕組みを構築している

3 人材・働き方

- スタートアップやベンチャーキャピタルへのレンタル移籍や出向を行っている
- 長期的な視点でベンチャー投資などのプロフェッショナル人材を育成している
- 新規事業部門等を社内基幹キャリアに位置づけている
- 外部人材の採用により、ベンチャー・エコシステムの人的ネットワークを取り込んでいる

4 CVC・M&A

- 足元の業績に左右されずに一定のベンチャー投資予算を確保している
- 経営層がベンチャー投資に対するリテラシー・スキルを高める努力をしている
- 経営層が買収候補先のスタートアップが持つ価値と買収後のシナジーを適正評価でき、スピード感を持って買収判断を行っている
- 買収先ベンチャーの人材流出を防ぐ仕組みを整備している（特別報酬、譲渡制限付株式、権限委譲など）

5 「場」づくり

- スタートアップや大企業に対して、オフィスや実験設備等のインフラを提供する「場」を設けている